

西那須野交番だより からすかもい

令和6年
4月号

編集・発行
那須塩原警察署
西那須野交番
0287-36-0030

◇ 春の行楽期における山岳遭難の防止について ◇

春は、山の空気や緑がさわやかで登山者が多くなる季節です。また、山岳遭難が絶えない季節でもあり、特に連休期間中は、全国的に山岳遭難が多発する傾向にあります。

暖かな春とは言え、山頂は気温が低く、強風が吹き、雪が残るなど厳しい環境もありますので、登山計画や装備が不十分だと命に関わる場合もあります。

そこで山岳遭難の発生状況や安全に登山を楽しむためのポイントなどを紹介します。

県内の山岳遭難の現状

○ 令和5年中の山岳遭難発生状況

- ・ 令和5年中の山岳遭難は、72件発生して82人（うち死者10人）が遭難しました。
- ・ 遭難の態様は、滑落19件、転倒16件、道迷い16件、疲労8件、病気5件、悪天候4件、転落3件、不明1件でした。



山で遭難しないために

○ 登山する前に・・・

- ・ 事前に登山ルートを確認して、各自の経験、技術、体力などに応じた無理のない登山計画を立てましょう。
- ・ 単独登山は控え、複数で登山しましょう。
- ・ 登山計画書や登山カードを提出し、家族などにも登山コースや帰宅時間を教えておきましょう。登山届受理システム「コンパス」、登山計画書届出システム「ヤマップ」もぜひご活用してください。
- ・ 日帰り登山でも、もしもの場合に備え、ライトや防寒着、雨衣、非常食などを準備し、携帯電話などの通信手段を必ず携行しましょう。

○ 登山中は・・・

- ・ 悪天候時や体調不良の場合は、無理をせず勇気をもって引き返しましょう。
- ・ 日帰り登山では、目的地に着かなくても、日暮れまでに下山しましょう。

山で遭難した場合には

○ 道に迷った場合は・・・

- ・ 道に迷ったら、先に進まず、位置が分かるところまで引き返しましょう。
- ・ 戻れない場合は、むやみに動かず、尾根に出て救助を待ちましょう。

○ 救助要請する場合は・・・

- ・ 携帯電話や無線機などで救助要請する場合は、電波が届く場所を探して通報してください。

なお、電池の消費を抑えるため、救助要請とは無関係な通信は控えましょう。

- ・ 救助のヘリコプターの音が聞こえたら、上空を見通せる広い場所に出て、目立つ色の衣類などを振って合図しましょう。

